

114  
A2794



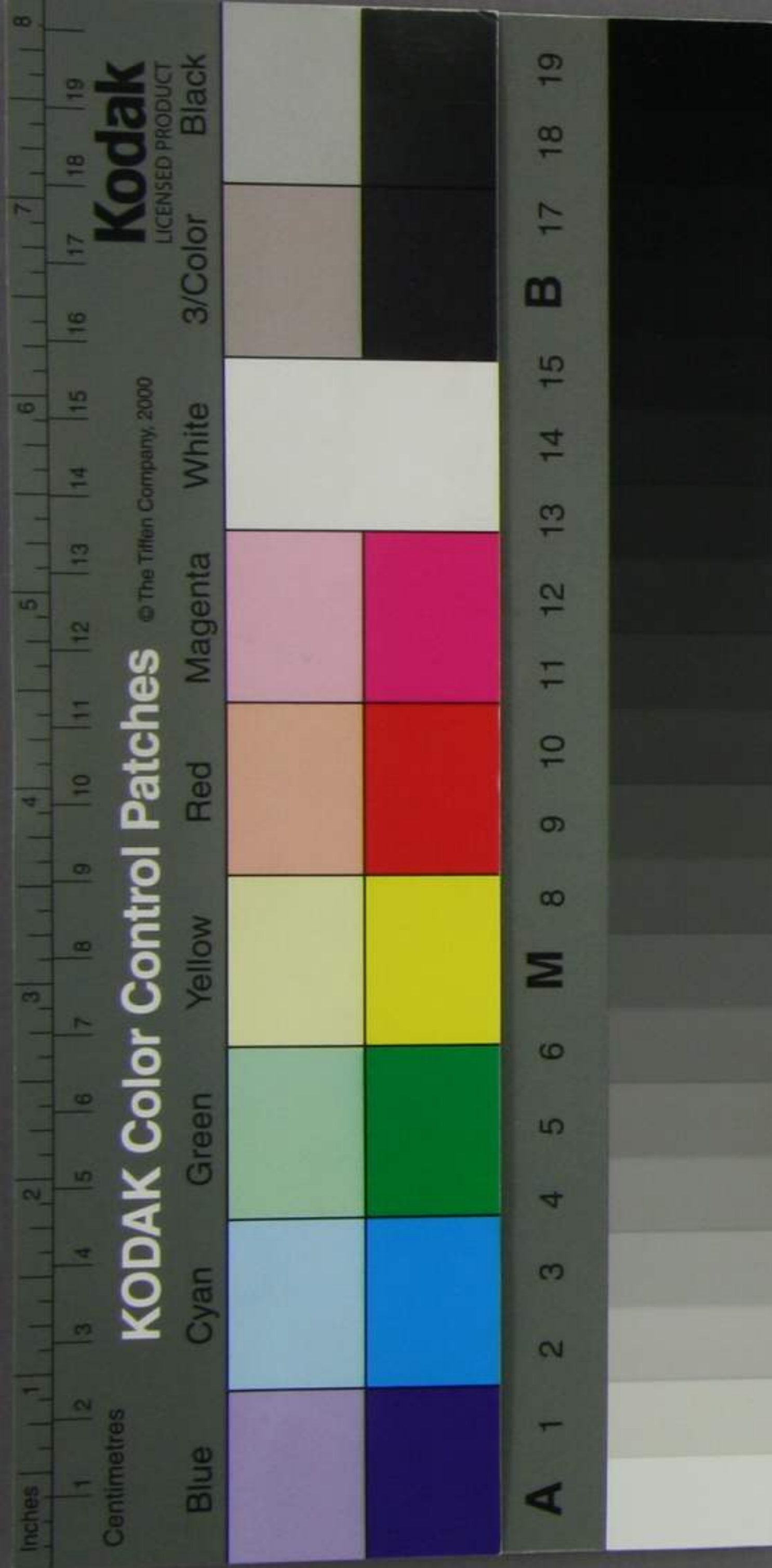
字國職  
業警察法抄譯

四款  
職業商業事務議會

第一節  
職業議會

職業議會ノ創設ト職業普通規則中ノ諸條款變更トニ関  
スル一千八百四十九年一月九日ノ布達(一千八百四十九  
年ノ法令彙纂第九十三條)ハ其第一款中ニ一新設立則チ  
職業議會ヲ設立スルキ事ヲ掲ケタリ  
右ノ設立及ビ目的ニ組織ニ付テハ同條例中第一条所  
至第二十二條中ニ確定スルテ左ノ如シ  
○第一條 職業上甚シキ交通アルヲ以テ職業議會ノ設  
立ヲ須要トスル各把各地方ニ於テハ職業者ノ請求スレ  
ハ職業商業諸會社並ニ其町村惣代人ノ意見ヲ聽キ亂レ  
且ツ商工務及ビ職業者ノ認可ヲ得テ之ヲ設立スルヲア

大  
限  
五  
十  
一  
年  
四  
月  
寄  
贈



ル一

○第二條 職業議會ハ其地方内ニ於ケル手職及ヒ器械製造ノ公益ヲ實驗シテ之レカ勸奨ニ須要ナル方法ヲ商議啓迪スヘキモノトス

特ニ職業議會ノ意見ヲ聴クニキテ以テ定規ト為サレクル場合(第二十六條第二十七條第二十九條第三十條第三十四條第六十七條及ヒ第七十條)ノ外ニモ亦凡ソ手職及ヒ器械製造ノ利害ニ關涉スニキ指令ヲ為スニ方テハ凡ソ何等ノ事儀タルニ論ナク右議會ノ意見及ヒ申請ヲ聴クニキモノトス殊ニ新規ノ組合若クハ會社ノ設置或ハ其從來存立セシモノ、廢止、合併ニ付キ並ニ職業律第百六十八條第百六十九條及ヒ此布令中第四十五條第五十六條第五十七條第五十八條 亦ソキ各地ノ規約ニテ

カ若クハ一時其職業ヲ行フ能ハサル時ハ其未タ徑尽セラル餘期或ハ一時差支ヘ事故ノ時月ニ對シ各議員ノ代理ニ本質ト同種族中ヨリ代理者ヲ撰挙スニシ並ニ代理者ニシテ其職ヲ行フ能ハサル時ハ先ツ同種族中ニ就テ其代人ヲ本部長(第十九條)ヨリ撰任スニシ

○第七條 議員及ヒ代負ノ撰挙ニハ惣テ手職場及ヒ器械製造所ノ授業者受業者及ヒ滿二十四年ニ及ヒ而シテ少クモ六ヶ月已來此職業會議ノ地方内ニ居住シ或ハ其業ヲ行ヒタル各獨立商人ハ友ノ諸人ヲ除クノ外干與スルノ權アルモノトス

- (第一) 公權ノ全部ヲ有セラル者
- (第二) 倒産ヲ為シ或ハ償還不能カヲ申立タル者
- (第三) 該人會社若クハ商業會議所ノ決定ヲ以テ其

大 歳 省

註イヨリ除却セラレタル者

(第四) 確定ノ裁判宣告ヲ以テ商業權ヲ剝奪セラレタル者

(第五) 製造物品ヲ以テ俸給トセラレタル職工ニシテ  
(第五十條乃至第五十二條) 將來其製造ヲ禁止セラレタル者

○第八條 各有撰挙權者ニシテ已ニ滿三十年ニ及ビ而シテ五年已來其職業ヲ營ミシ者ハ被撰者タルヲ得  
二等親已上ノ親屬若クハ義兄弟タルカ或ハ同商業場同製造場或ハ手職場ノ社員タル者ハ同時ニ職業議會ニ設算タルヲ得ス

○第九條 各部ノ議員ハ四年ノ任期ヲ以テ其同種族中ヨリ撰挙セラレルニシ

確定セララルヘキ規則ノ設立ニ付テハ尤モ然ルモノトシ其他職業議會ハ組合全務頭取及ヒ部役ノ試験部役手代弟子製造所職工ノ抱入及ヒ其取扱職權ノ徑界等ニ係ル諸規則其他職業上ニ関スル諸法則ヲ遵守スルキヤ之監督スルヲ要ス上ツ右諸事件ノ實驗ヲ公署ニ告知スルキ權利アリ又公署ノ命ニ應シテ通知及ヒ意見具申ヲ為スルキ義務アルモノトス

第二十二條 第三十五條 第三十六條 第四十七條 及ヒ第四十九條 中ニ記載ナル事務ノ決定ハ法律上定規アルノ外ハ職業議會ノ掌トル所トス但シ之レニ對シ府縣廳ハ訴願ヲ為スコトヲ得ベシ

○第十條 議員ハ本地方内ニ於ケル手職人仲間、器械製造人仲間及ヒ商業者仲間中ヨリ等分ニ撰挙マラルベシ

議員中右ノ一種族アルヲ以テ職業議會ハ分テ之ヲ三部トス

然レモ一地若クハ一地方ニ於ケル職業上ノ規状ニ關シ他ノ分合方ヲ須要ト為ス時ハ之レカ相当ノ裁制ハ商工務及ヒ職業省ノ管理スル所トス(第一條)

○第四條 各部議員ノ數ハ半數ナルニシ且ツ五タリ少ナキヲフルハカラス

○第五條 議會中其手職部及ヒ器械製造部ノ内ニ就キ授業者(手職人頭取、製造場所有者)ト受業者(部長、手代、職夫、製造場職工)同等ノ撰挙ヲ受リベシトイハレ各部ノ議員ヲシテ半數ニ充タシムベキ為ノ須要トスル人莫リ授業者中ヨリ撰挙スルヲ法トス

○第六條 議員若シ其任期ノ經過以內ニ免除セラル、

手職部ト製造部トノ議員撰挙ハ授業者受業者ノ特別撰挙會ヲ開テ之ヲ行フベシ

撰挙權アル諸受業者自家ノ種族中ニ於テ法律ニ確定セラレタル被撰要項ヲ具備スル人莫ク足ナリト思考スル時ハ其代理者ヲ授業者中ヨリ撰挙スルノ權アリ

○第十條 撰挙ヲ支配スベキ為ノ府縣廳ニ司務官一名ヲ補任ス但シ數個撰挙區ノ結合ヲ要スル時ハ其數名ヲ補任スベシ

各司務官ハ指定セラレタル撰挙時間ノ前十四日ニ公告シテ有撰挙權者ヲ此撰挙會ニ呼出スベシ

○第十一條 撰挙地方ノ各町村役所ハ本地ニ居住スル撰挙權アル者ノ姓名ヲ登記シ且ツ其増減ヲ追記スベシ而シテ撰挙寫スニ方テハ其時月ノ公告後直テニ右姓

名簿ヲハ日商職業者ノ識リ得ルキ為メ掲示スルニ此八日間ニ在リ凡ソ右姓名簿中ニ洩レタル有撰挙権者ハ自家姓名ノ追加ヲ請求スルコトヲ得ルニ其請求ノ当否ニ付テハ町村役所之ヲ決定ストイハレ之レニ對シ府縣廳ニ控訴ヲ為スコトヲ得但シ右ニ記載セル八日間経過後ハ閉テ司務官ニ交付セラルルニキ此姓名簿上ノ確定ハ下ノ為メ妨ケヲ受クルコトナシ

○第十二條 町村役所ノ姓名簿ニ登記セラレタル有撰挙権者ノ撰挙會ニ出席スルコトヲ得又不出席者、其發言權ニ行フコトヲ得ス

撰挙會ヲ開キタル上司務官ハ發言計美者二名及々筆記者一名ヲ補任ス撰挙ハ投票ヲ用ヒ過半多數ヲ以テ決定スルニ決定ニ際シ過半多數ヲ得タル者ナキ時ハ最多ノ

投票ヲ得タル二個被撰者ニ就テ再投票ヲ行フニ此投票票若シ相々同シキ時ハ抽籤ヲ以テ之ヲ決ス

撰挙記事ハ司務官、發言計美者書記連署鈐印シテ之ヲ府縣廳ニ送達スルニ因テ其諸手續キ成規ニ適シ且ツ被撰要項(第八條)具備スル時ハ認可セラルルニシトイハレ

若シ其認可セラレサル撰挙ニ在リハ再撰挙會ヲ確定スルニシ

府縣廳ノ指令ニ對スル訴願申立ニ付テハ商工務及々職業省之ヲ裁決スルニシ

○第十三條 職業議會ノ設立ニ方リ撰挙セラレタル議員及々代官ハ府縣廳ノ司務官ト手約(握手ノ式ヲ以テ許ス)シテ此義務ヲ負ヒ加負セラレモノトス

滿二年ノ終ニハ議員中ヨリ左ノ人負テ免除スベシ

(甲) 手職部及之器械部中ニ就テ授業者仲間ヨリ撰マ  
レタル議負ノ半數及之受業者仲間ヨリ撰マレタ  
ル議負ノ半數

(乙) 高業部中ニ就キ議負ノ弱半

同種族議負中ニ就キ先ツ除名セラルルニキモノハ抽籤ニ  
テ以テ定ム

各退去スル本負ニ齊シク其代負モ亦除名セラルルニシ

○第十四條 第十三條ニ記載セル議負及之其代負除  
名前及之自今二年毎ニ凡ソ四年ノ被撰時間ヲ経過シタ  
ル各負除名ノ條ニ於テ之レガ後位ヲ補充スニキ撰入  
為シ且ツ査閲ヲ行フニ但シ此撰入ニハ已ニ除名セラ  
レタル者再々撰入セラルハ一ツ得該撰入ノ認可セラレ  
タル上被撰者ノ議長ヨリ本負ノ義務ヲ受ケ加算セラル

ハモノトス

○第十五條 議負ハ其職ニ對スル俸給ナシ

町村吏負ニシテ停職及之<sup>罷免</sup>受クニキ場合ニ於テハ

職業議負ハ同一ノ手續キヲ以テ停職及之除<sup>罷免</sup>ヲ受リ

ニシ

其他議負或ハ代負第七條ニ記載セル事由ヨリ議負撰入

ニ関係スルノ權ヲ失フ時ハ停職及之除免ヲ受クニシ但

シ其然ル場合ニ於テハ議長ハ当人ニ先ツ職務執行ヲ禁

止スルノ權利アリトイハレ其旨ヲ直テニ府縣廳ニ具申

シテ右停職ノ認可若クハ解放ヲ受クルヲ要ス

○第十三條 議負ノ職掌内ニ係ル事務ノ評議若シ他諸

部ノ公益ニ抵触スリ時ハ惣部若クハ其関係アル部トノ

共同會議ヲ以テ之ヲ決スニシ

其他ノ場合ニ於テハ各部ノ事務ハ各自特別ノ會議ニ決  
スベキモノトス

○第十七條 議會ノ決定ハ少クモ議員三名以上ノ出席  
ヲ以テ其決行ノ力ヲ得ベシ又諸部共同會議トシ衆部同  
時ニ會合スル時ハ各部中ヨリ少クモ三名ノ出席ヲルヲ  
要ス

會議ハ現場ノ多數ニ由テ決定スルシ又同敷ナル時ハ議  
長ノ發言ヲ以テ之ヲ決ス

○第十八條 總議員及ヒ諸部ノ會議若シ行務ノ秩序ハ  
該議會ニ於テ草定シ府縣廳ニテ認可セラレタル事務  
程ニ由ルベシ

○第十九條 各部議員ハ其仲間中ヨリ過半ノ數ノ同意  
ヲ以テ部長一名又其事務ナル時ノ代理者トシ副部長一

名ヲ二年期ヲ以テ撰定スベシ若シ又右ト同方法ヲ以テ

職業會議全員ハ其惣員中ヨリ議長一名若シ其事故アル

場合ノ代理者トシ副議長一名ヲ撰シ且ツ其撰マレタル

者ノ姓名ヲ府縣廳ニ届ケ出ツベシ且ツ二年毎ニ議員

毎期改撰スルヲ以テ右ノ撰挙ヲ行フニ方リ從來ノ撰挙者

猶ホ議員ノ職ニ在レハ更ニ撰挙セラレハ得ベシ

○第二十條 議會ハ過半ノ數ノ同意ヲ以テ書記一名及  
ヒ使役一名ヲ撰挙ス但シ兩名トモ議長ヨリ其義務ヲ受

クベシ且ツ此兩名ニ付與マラルベキ給料ハ議會ヨリ由  
立府縣廳ニテ裁可スルモノトス

○第二十一條 議會ニ須要ナル場所ノ供給及ヒ保存ハ  
該會ヲ興センタル地方内諸町村ノ負擔トス且ツ此町村

ハ最初設施ノ費用ヲモ支辨スルシ但シ官有家屋ノ不用

ニシテ且ツ議會ニ相當セル私大ヲ具フルモノアル時ハ  
之ヲ渡ケル、イアルハシ又常工ニ添ル諸費用並ニ書  
記及ヒ使役ノ給料トモ本地方職業者ノ寄附金ヲ以テ支  
辨スルニ因テ須要ナル寄附金ハ府縣廳ノ許可ヲ受ケ  
廳ノ賦課原則ニ準據シ議會ヨリ賦課スルヲ得尚ハ  
ム得ケル場合ニ於テハ行政上ノ處分ヲ假リ其段  
執行スルヲアルニシ

○第二十二條 職業議會ノアラサル地ニ於テハ凡ソ  
會ニ付托セラルルニキ事務ハ本地方村役所ニテ執行ス

シ